

2023年1月16日

正会員各位

一般社団法人日本ヒープ協議会
2022年度選挙管理委員会
委員長 丹野 富美恵

役員改選にともなう信任投票のお願い

2023年度の理事・監事候補者が下記のとおり決定いたしました。

つきましては、当会の定款施行規則にしたがい、一括投票による選挙を行います。

別紙のとおり、代表理事候補、留任理事候補・留任監事候補は、抱負を、新任理事候補は推薦者からの推薦文をお寄せいただきました。ご参照いただき、投票用のウェブページより投票をお願いします。

(投票用ウェブページのURL <https://questant.jp/q/ZVQMH5K9>)

なお、会社から投票ができない場合には、別のメールアドレスに投票用の URL をお送りしますので、お早めに事務局宛にご連絡をお願いします。

本件は、正会員に限り投票権があります。所定の投票数が得られない場合、新年度の役員改選に支障をきたしますので、ご多忙とは存じますが棄権することなく、ご投票くださいますようお願い申し上げます。投票期限は **1月30日(月)** です。

最後に、これまでご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げますとともに、今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

- | | |
|-----------|----|
| 1. 代表理事候補 | 1名 |
| 2. 留任理事候補 | 7名 |
| 3. 新任理事候補 | 2名 |
| 4. 留任監事候補 | 1名 |


以上

2022年度 選挙管理委員会

委員長	(東京)	丹野 富美恵	富国生命保険相互会社
委員	(東京)	篠 かおり	アフラック生命保険株式会社

(別紙)

〔2023年度 代表理事候補者〕


なかむら なおみ 中村 尚美さん	日新製糖株式会社 生産本部 生産管理部 生産委託管理課	理事
	<p>【抱負】</p> <p>2022年度は理事会メンバーや皆さまと共に、「本音で共創する組織・チームづくりへの挑戦 進化する実践BOOK」の公開の他、ヒーブイノベーションシリーズとして「生活者『を』から生活者『と』による価値創造の実践へ」をテーマにして公開講演会を3回にわたり開催し、ヒーブの役割である生活者と共に新しい価値を創造するための学びを深めて参りました。社会に目を向けてみれば、2022年度もまだまだ収束を見ないコロナ禍と世界的なインフレーション、そして経済においては円安基調と生活者にとっても企業にとっても先を見通すことが困難な年となっています。この不確実な時代こそ、協議会でのヒーブとしての研鑽が活きてくると考え、45年目を迎える2023年も、日本ヒーブ協議会がさらに進化し、会員企業ならびに社会に貢献できるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>	


(別紙)

〔2023年度 留任理事候補者〕


<東京>


(氏名五十音順)


こばやし あさひ 小林 あさひさん	日本生命保険相互会社 お客様サービス部	理事
	<p>【抱負】</p> <p>2021年に正会員として入会、2022年度は理事としてヒープの活動に関わらせていただく中で、この異業種のメンバーで活動することのすばらしさ、価値をひしひしと実感しています。歴史のあるヒープ協議会をさらに盛り上げ、会員の皆様の学び・ネットワークづくりにつながる活動、社会に生活者視点の新しい価値を提供できるよう、微力ながら頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	

しまだ えみ 島田 絵美さん	三菱自動車工業(株) TCS 本部 お客様関連部	理事
	<p>【抱負】</p> <p>2022年度は月例担当の新任理事として至らない点も多く、皆様に支えられて運営を続けることができました。</p> <p>月例研究会はオンラインとオフラインのハイブリッド運営が主流となる中、ヒープならではの力強さ、コミュニケーション能力の高さを実感した1年でした。</p> <p>来年度はヒープ設立45周年という節目にあたります。微力ながらヒープのこれからの活動に理事として尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>	

(別紙)


すずき せいこ 鈴木 聖子さん	明治安田生命保険相互会社 お客さま志向統括部 お客さま志向統括グループ	理事
	【抱負】 2022 年度は、研究会推進担当として、おもに月例研究会の運営に携わってまいりました。 今年度は、公開講演会や OG 会との共催による月例研究会など対面での開催も増え、会員同士のリアルな交流の機会も増えました。 2023 年度もみなさまと一緒にさらに魅力的なヒープ協議会を作っていきたいと思っております。 どうぞよろしくお願いいたします。	

みずの えいこ 水野 映子さん	株式会社第一生命経済研究所 ライフデザイン研究部	理事
	【抱負】 2022 年度は、新任理事として皆様のお力添えやご指導をいただきながら、広報業務などを担当させていただきました。理事としての活動に携わる中で、ヒープが企業や社会の中で果たすべき役割をより実感した一年間でした。 2023 年度も引き続き、皆様とともにより良いヒープ協議会、より良い社会づくりを目指していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。	


わきた まち 脇田 真知さん	サンスター株式会社 経営情報部	理事
	【抱負】 2022 年度の日本ヒープ協議会も、まさに“学びながら進化する”チームでした。ヒープがめざす「北極星」は、ヒープの原点から軸をぶらさず先をみて進化していることも再確認。ヒープの役割「生活者と新しい価値を共に創る」についても学びを深めることができました。 2023 年度は 45 周年！「ヒープ Innovation アクション」をさらに進め、“わくわくチャレンジ”“みんなで創る”“これからの時代の価値を生む”日本ヒープ協議会 に尽力します！	

(別紙)

<関西支部>

つじ みちこ 辻 美智子さん	第一生命保険株式会社 大阪法人営業部	関西支部 理事(支部長)
	<p>【抱負】 今期は初めて理事を務めさせていただき、関西支部長ならびに月例研究会の運営を推進してまいりました。 関西支部には産官学それぞれにヒープの活動の場があり、理事(支部長)としてたくさんの方とご縁をいただき、社会課題の解決に向け、ヒープの考えや想いを伝える重要な役割を担わせていただきました。また12月度月例研究会では、歴代の先輩方と直接お話をすることで、よりヒープの理念を共有できたように思います。 来期は創設45周年となります。引き続き、支部活動を中心に、リアル対面も再開しながら会員みなさまそれぞれの得意分野を活かした支部運営ができるよう、尽力してまいります。 どうぞよろしくお願い致します。</p>	

<九州支部>


なんば ゆうこ 難波 裕扶子さん	株式会社シンク・オブ・アザーズ 代表取締役	九州支部 理事(支部長)
	<p>【抱負】 2022年度は、前年に引き続き九州支部長として会員の皆さまのご指導とご協力を賜りながら活動してまいりました。最新の学びや組織を超えた繋がりをオンラインにより触れることで、仕事の幅と可能性を広げることが出来ました。 ヒープ創設45周年となる2023年度は、会員の皆さまが組織として、また市民として「豊かさとは何か」を感じる、人肌感のある取り組みにもチャレンジし、共に生きる未来を創造していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。</p>	


(別紙)

〔2023年度 新任理事候補者〕

(氏名五十音順)


<東京>

すのうち たかみ 須之内 たか美さん	住友生命保険相互会社 お客様本位推進部	理事
	【推薦者】サンスター株式会社 脇田 真知 日本生命保険相互会社 小林 あさひ 須之内さんは調査・生活者関連情報分科会に参加され、今年度作成した「進化する実践 Book」制作では、組織づくりに関する高い知見・経験や的確な判断により分科会を力強くリードしていただきました。分科会メンバーにとって本当に頼れる存在です。そして須之内さんの発信力は今年度の公開講演の事例紹介で皆様お聞きになったとおりです。そんな素敵な須之内さんに是非理事としてヒープを盛り上げていただきたいと思い推薦します。	

まつばら あい 松原 愛さん	サントリーホールディングス株式会社 お客様志向経営推進部	理事
	【推薦者】三菱自動車工業株式会社 島田 絵美 アサヒビール株式会社 林 真由美 お客様対応分科会にご参加されている松原さんは、常にお客様目線で物事を考えていらっしゃいます。 それは、発言される内容やご意見からも感じられ、とても印象的でした。またご自身の意見もきちんと話される面もお持ちで、ご自分の会社のファンを増やそうと努力されている姿に感銘も受けました。 ヒープ協議会の会員が役立つことにも積極的に努めていただけないかと思い、理事に推薦させていただきました。	

(別紙)

〔2023年度留任監事候補者〕

はやし まゆみ 林 真由美さん	アサヒビール株式会社 品質保証部 お客様相談室	監事
	<p>【抱負】</p> <p>日本ヒーブ協議会は、女性だけの会ではありますが、会社も違う、年代も違う背景を持つ会員が集える場です。</p> <p>他の会員の話から自分の会社のことが逆に良く見えるのもヒーブ。そんなヒーブも月例会や分科会でのリモートが通常になりましたが、少々つながりは見えにくいと感じます。</p> <p>2023年に45周年を迎える日本ヒーブ協議会は、会員に役立つ組織となるために、会員のみなさんを巻き込みながら話し合うことの大切さを感じます。</p> <p>監事ではありますが、理事や会員の方と共に考えながら、楽しい日本ヒーブ協議会となるように努めて参りたいと存じます。</p>	

以 上